



祝 令和5年桂川町二十歳のつどい

逆境でも仲間と進もう

晴れ着姿に彩られた

143名の新たな門出

昨年しねんの4月、成年年齢は二十歳から十八歳に引き下げられました。桂川町では昨年までの成人式に代わり、二十歳という節目を迎える方々をお祝いする「二十歳のつどい」を開催しました。

今年ことしは男性66名、女性77名の計143名が二十歳を迎えました。それぞれが思い思いの華やかな晴れ着に身を包み、久しぶりに再会した友人らと写真を撮ったり、思い出話に花を咲かせたりするなど、旧交を温め合う様子が随所で見られ、会場内は参加者の笑顔であふれていました。20年前といえ、2003年。日本では「千と千尋の神隠し」がアカデミー賞を受賞、「地上デジタル放送が開始」、海外では「イラクでのテロ」、「新型コロナウイルス(SARS)の大流行」などのニュースがあった年です。

時の流れの速さを感じた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

式典では、井上町長はじめ多くの来賓の方が温かいお祝いとお励みの言葉を贈りました。二十歳の代表として吉田よしだ琉晟りゅうせいさんは「私たちが晴れて二十歳を迎えることができたのも、たくさんの方の愛情を注いで育ててくれた家族、たくさんの方の指導をしていただいた先生方、そして仲間のおかげです。コロナ禍という逆境に立たされている私たちですが、成人として生活することの責任を胸に精進して参ります。まだまだ未熟な私たちではありますが、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。」と謝辞を述べました。

これから一人の大人として社会へ羽ばたき、未来が幸多いものとなることを心から願います。

おめでとうございます！